

「業務必携」 こうして使おう!



活用例 1

「委員会業務のイメージが湧きました」

——新任農業委員・推進委員の研修会に活用

滋賀県彦根市農業委員会では、体制変更後に開催した農業委員・推進委員の研修会に農業会議職員が業務必携を活用して説明。豊富な事例を使った具体的な記載が分かりやすく、「幅広い委員会業務のイメージが湧きました」との感想が出ました。

活用例 2

「分かりやすく、理解が進みました」

——研修会テキストに活用

山口県では、7～11月に県内12地区で開かれる農業委員・推進委員・職員のブロック別研修会で研修会テキストとして活用。山口県農業会議が作成した説明資料(パワーポイント版)と併用し、農業委員・推進委員・職員の理解につなげています。

活用例 3

「繰り返し読み返し、研修内容を復習したいです」

——農業委員会総会後の勉強会に活用

新潟県三条市農業委員会では、8月に県内2か所で開かれた農業会議主催の地域別農業委員会代表者研修会を受け、委員会総会後に業務必携を使って勉強会を開催。「繰り返し読み返し、研修内容を復習したいです」との声が聞かれました。

農業委員会業務必携は、以下の2つの方法で購入できます。

① 都道府県農業会議(電話、ファクス等)

② 全国農業図書ホームページ

詳しくは全国農業図書ホームページをご覧ください。

全国農業委員会ネットワーク機構 一般社団法人 全国農業会議所

〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8 中央労働基準協会ビル
TEL.03-6910-1131 <https://www.nca.or.jp/tosho/>

全国農業図書ホームページ▶



※ このリーフレットは全国農業図書ホームページからダウンロードできます。

2020年11月

農業委員、推進委員の皆さんへ

「農業委員会業務必携」 お持ちですか

全国農業図書の中で
委員の皆さんに
特に使われている本です!



2020年度 農業委員会業務必携 87号

全国農業図書コード R02-10

A4判・152頁 税込1,490円

令和2年7月15日刊行

なぜ、「農業委員会業務必携」をお薦めするか——

それは、

- 農地利用最適化になぜ取り組むのか、どう取り組むのかよく分かるから!
- 農業委員会に欠かせない情報が満載で、日常の活動に役立つから!
- 業務のマニュアルとしても最適だから!

➡ 新任委員の皆さんには、特にお薦めです!!

全国農業委員会ネットワーク機構
一般社団法人 全国農業会議所

ここに注目 充実した内容 ▶ 情報満載です!

巻頭言

全国農業委員会ネットワーク機構 一般社団法人全国農業会議所
会長 國井 正幸

特別寄稿

● 農業委員会の活動に期待する
神戸大学大学院法学研究科 教授 島村 健

● 未来のムラの代表としての働きに期待する
東京農業大学食料環境経済学科 教授 堀部 篤

特集

新たな食料・農業・農村基本計画と農業委員会の活動

I 新たな食料・農業・農村基本計画のポイント
農林水産省・浅川京子大臣官房総括審議官に聴く

II 「基本計画」における担い手・農地政策と農業委員会組織の今後の活動

全国農業委員会ネットワーク機構 一般社団法人全国農業会議所
専務理事 柚木 茂夫

農水省の浅川審議官(当時)が基本計画の基本的な考え方やポイントをQ&A形式で解説。食料・農業・農村政策審議会委員として基本計画策定に参画した全国農業会議所の柚木専務理事が、担い手・農地政策の方向と農業委員会組織が取り組むべき活動を具体的に解説します。

第2章 進めよう農地

	対話型説明会方式 (プレゼンテーション方式)	合意形成話し合い (ワークショップ方式)
特徴	・あらかじめプランが固まっている地域向け ・プラン案を説明し、参加者同士で意見交換をする	・プラン案などなく、ゼロから作る地域向け ・お互いにアイデアを出し合うを固めていく
適している地域	担い手が十分いる、比較的いる	担い手はいるが不十分、いない
参考資料	全国農業図書DVD(29-33)「人・農地プランの話し合いで進める農地利用の最適化」(千葉県香取市の活動に学ぶ)	全国農業図書ブックレット(3)(集落)の未来図を描こう!プランの実質化を確実に進める座談会の具体的な開き方〜村農業委員会事務局長・澤村

農地・組織を巡る最新情報

豊富な活動事例

分かりやすい解説

①対話型説明会方式(プレゼンテーション方式)
説明会方式の場合、市町村の担当者などが「人・農地プラン」(案)を説明し、農地の出し手と受け手との合意形成を図ります。最終的に合意が得られれば、プランに落とし込みます。市町村の担当者等が一方通行ではなく、委員の皆さんが進行役を務めるなど、参加者全員が話し合いに加わるように工夫します。

説明会形式による進行表(例)

順番	内容	時刻	持ち時間
①	開会のあいさつ	18:00	5
②	アンケートの集計結果について	18:05	10
③	「人・農地プラン」制度について	18:15	10
④	「人・農地プラン」(案)について	18:25	10
⑤	意見交換	18:35	20
⑥	その他	18:55	5
⑦	閉会	19:00	-



②合意形成話し合い方式(ワークショップ方式)
ワークショップとは参加者個々が考え、お互い協力し合い、与えられたテーマを元に展開する会議の方法です。5~6人のグループで意見を出し合い、グループで出た意見を全体に発表するので、個々の意見が反映されやすいことが特徴です。中心となる経営体である担い手がいらない、後継者が不在で高齢者が多いなど、「人・農地プラン」(案)の作成が難しい場合など、地域農業についてゼロから話し合う必要があるときに有効な形式です。

農業委員会の業務と取り組みの手法

第1章 農業委員会業務に取り組むに当たって

農業委員会の業務と農地利用最適化業務の意義について核となる内容を解説。農業委員会制度・業務の変遷と農業委員会の役割が、すっきり理解できますよ!



第2章 進めよう農地利用の最適化

農地利用の最適化の進め方や「人・農地プラン」の策定、遊休農地の発生防止・解消、新規就農・新規参入の取り組みを具体的に解説。「農業委員会の顔」とも言うべき法令必須業務が、よく分かります。



第3章 担い手の育成・確保と農業経営の合理化を推進しよう

農業経営の法人化と経営継承、簿記記帳・青色申告、家族経営協定、農業者年金など、担い手の育成・確保に関する基本的な事項を幅広く把握できます。



第4章 農業一般の調査および情報提供に取り組もう

農業委員会活動の基礎となる情報提供について、全国農業新聞・全国農業図書や「農業委員会だより」の活用とともに、農地台帳と地図の整備・公表、各種調査の概要を紹介。地道な取り組みの重要性が分かります!



第6章 信頼される農業委員会

農業委員会が信頼されるために、法令違反のリスクとその対処方法、ハラスメント防止や個人情報の取り扱い、選挙運動について解説。農業委員会関係者の自覚をさらに高めましょう。



第5章 「農業者等との意見交換会」と関係行政機関への「意見の提出」

「農地利用の最適化」の成果を上げ、さまざまな課題解決につなげる「意見交換会」と「意見の提出」の意義や実施方法を解説。施策・予算に反映させる仕組みが理解できます。

